



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年04月20日 第1264「週刊五十嵐レポート」

「利と義」

4月19日付日経新聞、「技能実習後大都市へ流出」という記事。

地方で技能実習を終えた外国人材が賃金水準の高い大都市に吸い寄せられている。2027年度に技能実習は新制度「育成就労」になり実習途中でも転職が可能になる。地方の魅力を高めないと人手不足が一段と深刻化する。

2025年住民基本台帳による人口動態では、三大都市圏に合計約12万人の転入超過、日本人(特に若年層)も依然として大都市圏に集中している。

中国古典「韓非子」の人間観は、「人は利で動く」。人は生まれつき善でも悪でもなく、自分にとって得か損かで行動する存在。つまり、利益があれば動く。損をすれば避ける。非常に現実的な人間観である。例えば、給料が高いと一生懸命働く。得がなければ頑張らない。人の行動は「利益」と「不利益」でコントロールできると考えていた。

調べていくと、日本人以上に外国人が大都市圏特に東京圏に流入が多い。それは、仕事(サービス業・IT・建設・外食)、学校(日本語学校・専門学校)、コミュニティ(既存ネットワーク)等たくさんあることが要因。

一方、中国古典「孟子」の人間観は、「人は義(正しさ)で動く」。義とは正しいこと。私利私欲でない判断。得だからやるのではなく、正しいからやるという考え方。人は本来「義」を感じとる力がある。

この2つの思想を合体させたのが渋沢栄一の「論語と算盤」。義を忘れた利は搾取。利を忘れた義は空論。「利」は事業継続を可能にする源泉。粗利を高め、東京圏と同等な条件で給料を支払可能か。競争相手は東京である。

15年前ベトナム視察ツアーを主催したとき、現地日系企業の社長は、「採用した社員の実家に行って両親に挨拶をする。そうすると離職しなくなる。なぜなら親が離職を反対するから」と言っていた。外国人は日本人以上に親を尊敬する。つまり、「義」である。日本在住の会社が外国へ行って、両親に挨拶する社長は皆無でしょう。外国人を「人手」と見るか、「人材」と見るか、「利」と「義」を兼ね備えた企業に人は集まるような気がする。

ちょっと
気になる出来事

4月17日付日経新聞、「セミ型、流行の兆し」という記事。新型コロナウイルスの変異株「BA. 3・2 (通称=セミ)」が世界で流行する兆しをみせている。

2024年11月アフリカで初めて報告された当初は感染者数は増えなかった。26年に入り、日本など世界23カ国で事例が確認されている。

数年の潜伏の後、感染が拡大する様はセミの生態と似ており、通称はセミと名付けられた。

セミは南アフリカで24年に初めて検出された。25年4月に欧州で散発的に感染者が発生したものの感染地域は広がらなかった。ところが、25年9月ごろから南アフリカから離れた米国で感染事例がでるようになった。

世界保健機構(WHO)は他の新型コロナと比べて現時点で重症化のしやすさや入院の必要性、死亡者数の増加を示すデータはない。

一気に感染力があるとは伝えられていない。ほっとするが、あのコロナ環境下にはなりたくない願っている。



一口メモ
知識

友人と交際 4

ひとかどの人物は独立独歩だが、ザコは持たれ合いがお得意だ。

子曰、君子求諸己 小人求諸人

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

